

神奈川歯科大学 同窓会会報

神奈川歯科大学同窓会は 50 周年を迎えます

神奈川歯科大学同窓会は、昭和 45 年に発足し、令和 2 年で創立 50 周年を迎えました。
新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により開催が 5 年遅れとなってしまいましたが、
50 年の節目として神奈川歯科大学同窓会創立 50 周年記念事業を開催させていただきます。

142 号 2025 年 7 月



Kanagawa Dental University Alumni Association

<https://inaoka82.com/>



神奈川歯科大学同窓会 創立 50 周年記念式典・祝賀会のご案内	1
巻頭言	会長 大館 満 2
認知症予防に向けた医科歯科連携の必要性・必然性	木本克彦 3
神奈川歯科大学同窓会韓国支部設立式	相原元一 5
第 99 回代議員会報告	6
令和 6 年度定例総会報告	9
令和 5 年度一般会計歳入・歳出決算 収支計算書	10
令和 7 年度一般会計歳入・歳出予算	11
会務報告（令和 7 年 1 月から 6 月まで）	12
令和 6 年度第 1 回表彰選考委員会報告	13
学術講演会報告 榎木恵一先生講演会報告記	横山 穰 14
青島徹児先生講演会報告記	藤野拓郎 15
奈良嘉峰先生講演会報告記	藤野拓郎 16
同窓便り 山形県支部	17
群馬県支部	18
静岡県支部	19
愛知県支部	20
広島県支部 (1)	21
広島県支部 (2)	22
大分県支部	23
クラス会報告 7 回生クラス会	桂 一平 24
35 回生クラス会	香西雄介 25
令和 7 年 春の叙勲表章・令和 6 年度 表彰	26
お知らせ	27

- 表紙題字：大館 満 会長
- 表紙写真：大学（教学 IR 室）よりご提供いただきました。
- P.17～P.23 の「同窓便り」に公益社団法人 日本歯科医師会 広報課より許可をいただき、日本歯科医師会 PR キャラクター「よ坊さん」のイラストを使用しています。

神奈川歯科大学同窓会
会員各位

神奈川歯科大学同窓会
会長 大館 満

神奈川歯科大学同窓会 創立50周年記念式典・祝賀会のご案内

盛夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本会活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、神奈川歯科大学同窓会は、昭和45年に発足し、令和2年で創立50周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により開催が5年遅れとなってしまいましたが、50年の節目として下記の要領で神奈川歯科大学同窓会 創立50周年記念事業を開催させていただきます。参加申込につきましては以下の要領で受け付けいたします。

(同封いたしました創立50周年記念式典・祝賀会のご案内もご参照ください)

是非、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

創立50周年記念事業の成功に向け、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

記

日 時：令和7年10月18日(土)

受付開始 13：30より

記念式典・記念講演会 14：00より (アンバサダーズ ボールルーム)

コンサート・祝賀会 16：30～19：30(クイーンズグラウンド ボールルーム)

場 所：横浜ベイホテル東急 地下2階

アンバサダーズ ボールルーム、クイーンズグラウンド ボールルーム

〒220-8543 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-7

TEL. 045-682-2222

会 費：1名様 15,000円(事前振込制)

申込方法：同窓会ホームページから、または申込用紙に必要事項をご記入の上、
FAX、メールにてお申し込みください。

申込期限：令和7年8月31日(期限厳守にご協力お願いいたします)

振込先：りそな銀行 横須賀支店 普通預金口座 1560025

神奈川歯科大学同窓会



神奈川歯科大学同窓会 会長 大館 満

皆様には日ごろより同窓会活動に対しご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

神奈川歯科大学同窓会は、昭和45（1970）年11月3日に創設し、令和2（2020）年で創立50周年を迎えました。当初、令和2（2020）年11月21日に50周年記念式典、祝賀会を開催予定でしたが新型コロナウイルス感染症の影響により開催が5年遅れとなってしまいました。本年10月18日（土曜日）に神奈川歯科大学同窓会創立50周年記念事業を開催させていただきます。会員の皆様のご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。

記念公演は他の大学関係のみならず経済界からのオファーも高い当校の鹿島理事長にお願いしました。演題は「時間を超えて次のその先へ」と伺っています。

記念コンサートは現在、日本のソプラノではナンバーワンと評されている高野 百合絵さんをお願いしました。お忙しい中、何とかご了解をいただき私自身大変楽しみにしております、ご期待ください。

開催準備は多種多様で多くの事項があり、少人数では困難であると判断し理事全員に実行委員に就任して頂き、副会長の桂先生に実行委員長をお願いしております。委員の皆さんから多くの意見をいただき活発に活動し準備しております。

さて、昨年のも真夏日も酷暑も火災も多発し温暖化の影響が大変顕著でした。今年も3月から夏日が出るなど昨年以上の暑さが予想されております。熱中症は予

想以上に危険な疾患です。罹患しないための対策が必要です。ご注意いただきたいと思っております。本年も温暖化防止のため同窓会もSDGsへの働きかけを強めて参りたいと思っております。

学校法人神奈川歯科大学においては一昨年12月末に新しい本館が竣工し、オープンスペースでの学生の自習姿も見られ落ち着いた中で新しい学園の在り方を表現しております。また、新本館の素晴らしいデザインとコンセプトが評価され欧州でいくつかの賞を受賞し優雅な雰囲気を漂わせております。

令和7（2025）年4月の入学生は卒業生推薦枠からの入学生も増え、定員を超え順調に推移しました。今年度の入試も卒業生推薦枠を満たすべく全国の同窓の先生方の協力をお願いいたします。

本年も夏以降、例年と同様新規の学生募集が始まります。少子化が進む中、受験生は減少しております。同窓会として優秀な学生を集め、母校を応援していきたいと考えております。卒業生の推薦で子女でない受験生も認める「卒業生推薦枠」となり、入学金から60万円免除され、気楽に推薦できる制度となっております。皆様の近隣のお知り合いの子女でも可能ですのでご紹介のほどよろしくをお願いいたします。

会員の皆様には今後ともご高配とご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

松風ブロック PEEK 大白歯 保険適用

■ CAD/CAM 冠用材料 (V)



強く、しなやかに
新しい CAD/CAM 冠



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

● 本社: 〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11 www.shofu.co.jp

お客様サポート窓口(075)778-5482 受付時間8:30~12:00 12:45~17:00(土日祝除く)

歯科切削加工用レジン材料

管理医療機器

医療機器認証番号 303AGBZX00083A01

認知症予防に向けた 医科歯科連携の必要性・必然性



神奈川歯科大学附属横浜クリニック 院長 木本克彦 (19回生)

本クリニックは開院以来、医科部門の充実を図ってまいりました。現在では、眼科・耳鼻咽喉科・内科（一般内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、認知症・高齢者総合内科）、麻酔科、放射線科（医科・歯科）を開設し、歯科部門と協働しながら、横浜駅エリアで唯一の医科歯科連携医療機関として地域医療に貢献しております。特に、歯科大学の附属病院において認知症・高齢者総合内科を開設し、認知症患者に対する医科歯科連携治療を行っている点は、本クリニックの特徴の一つです。

超高齢社会が進展する我が国において、認知症高齢者の推定有病者数は2025年には675万人に達すると報告されています。これは、軽度認知障害（MCI）を含めると約1000万人の患者がいることになり、東北6県と茨城県の人口に相当します。このような状況の中、Livingstonらは¹⁾、患者自身のライフコースの枠組みの中で、低学歴、中年期の難聴、肥満、高血圧、後期のうつ病、喫煙、運動不足、糖尿病、社会的孤立など、いくつかの危険因子を修正することにより、認知症の発症を約45%予防できる可能性があるとして報告しています。また、認知症に対する本質的な疾患修飾薬として「レカネマブ」や「ドナネマブ」への期待も高まっています。しかし、これらの新薬は、診療可能な医療機関や対象となる認知症患者が限定されているため、臨床現場においては、プレクリニカル段階を含むMCI・認知症患者に対し、危険因子への総合的な介入を行う先制的予防介入が、現実的な選択肢となると考えられます。

近年、口腔機能の低下や歯周病の状態が、認知機能の低下や認知症の発症リスクと関連していることが、動物実験や疫学調査によって数多く報告されています²⁾。また、日常の臨床現場においても、口腔清掃不良による歯周病の悪化や、義歯の不適合などによる口腔機能の低下が、病態の修飾因子（不機嫌や易怒性の亢進、拒食といったBPSDの要因）や促進因子となることも十分に理解できます。さらに、口腔機能の低下は、口腔内の不潔・乾燥、咬合力の低下、口唇・舌の機能低下、咀嚼機能や嚥下機能の低下を招き、低栄養やサ

ルコペニアのリスクを高めることで、最終的には「食べる機能」の障害、すなわちオーラルフレイルを引き起こす可能性があるとして注目されています³⁾。いずれにせよ、口腔内の諸問題が認知症性疾患と深く関連していることが示唆されており、「新オレンジプラン」のもとでは、職域や職能を問わず、認知症に関わるすべての医療従事者がチームとしてこの課題に取り組むことが求められています⁴⁾。

最近では、認知症の診療に積極的に関与している「日本老年精神医学会」と、口腔機能の治療や研究を推進している「日本補綴歯科学会」「日本老年歯科医学会」「認知症と口腔機能研究会」が医科歯科連携し、認知機能と口腔機能の低下による機能障害や歯周病などの口腔疾患との相関に関する探索的研究プロジェクト「ECCOプロジェクト (Medical-Dental collaboration: Exploratory research project on the Correlation between Cognitive and Oral function)」が新たにスタートし、医科・歯科双方の意識調査が実施されました⁵⁾。その調査において、「医科歯科連携の必要性があるか」という質問に対し、「大いにある」または「少し思う」と回答した割合は、認知症専門医で91.6%、歯科医師で93.0%となり、両者が医科歯科連携の重要性を強く認識していることが明らかになりました（図参照）。

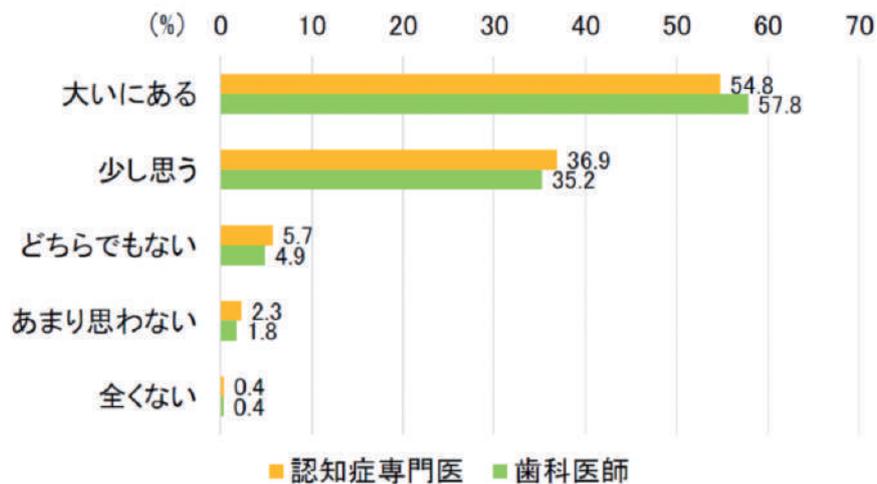
現在において、歯科医師が認知症性疾患への理解を深め、医科の専門家と連携することは、時代の必然と言えます。医科を受診した際に歯科の受診が必要と判断された場合や、歯科を受診した際に医科的な問題が察知された場合には、相互に情報を共有し、医科と歯科の連携治療を積極的に進めていくことが、今求められています。

【文献】

- 1) Livingston G, et al. Dementia prevention, intervention, and care: 2024 report of the Lancet standing Commission. Lancet. 2024;404(10452):572-628.
- 2) 木本克彦. 咀嚼と認知症に関する研究レビューと今後の研究展開. 日補綴会誌 2020; 12: 135-143.

- 3) 歯科診療所におけるオーラルフレイル 対応マニュアル. 2019年 公益社団法人 日本歯科医師会.
- 4) 認知症施策推進関係閣僚会議. 認知症施策推進大綱. 2019. [updated 2019 June 18; cited 2024 January

- 5] Available from: https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ninchisho_kaigi/pdf/shisaku_taikou.pdf
- 5) 釘宮嘉浩他. 認知症と口腔機能 Dementia and Oral Function 1 : 2024. In press.



図：医師歯科医師双方向アンケート（Q：認知症患者における医科歯科連携の必要性）⁵⁾

明日の口腔医療に貢献する歯科用機器・サプライ・書籍の総合商社

今日もTRADスピリットで。

大正 12 年の創業以来、田中歯科器械店は、伝統を守りながらも常に環境の変化に対応し、革新し続けることで発展してまいりました。そのスピリットを表現するシンボルが TRAD。Tradition を意味するだけでなく、Tanaka Realize Advanced Dental という強い意志を表しています。田中歯科器械店はこれからも TRAD スピリットで、国民の口腔医療に貢献してまいります。



株式会社 田中歯科器械店

- 本 社
〒102-8139 東京都千代田区富士見1-3-8
Tel 03-3230-2386(代) Fax 0120-418-550
- 神奈川支店
〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町26-3
Tel 046-826-1640(代) Fax 0120-182-999
- 新潟支店
〒951-8151 新潟県新潟市中央区浜浦町1-41
Tel 025-267-1080(代) Fax 0120-438-020
- 日本歯科大学営業部附属病院売店
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-16
日本歯科大学附属病院内
Tel 03-3263-9525(代) Fax 03-3263-9553
- 日本歯科大学営業部生命歯学部売店
〒102-0071 東京都千代田区富士見1-9-20
日本歯科大学生命歯学部内
Tel 03-3265-8977(代) Fax 03-3265-0570
- 日本歯科大学新潟生命歯学部売店
〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8
日本歯科大学新潟生命歯学部内
Tel 025-265-0850(代) Fax 025-265-0859
- 神奈川歯科大学営業所
〒238-0003 神奈川県横須賀市稲岡町82
神奈川歯科大学歯学部内
Tel 046-826-1441(代) Fax 046-826-1465

<http://www.tanakadental.co.jp>

神奈川歯科大学同窓会韓国支部設立式

神奈川歯科大学 同窓会副会長 相原元一（4回生）

2025年3月15日に、韓国ソウル特別市MAYFIELD HOTEL SEOULにて開催されました。

尹 榮浩会長の下、31名の韓国支部の会員が集まり、厳粛な中にも若々しい力が感じられ、鹿島 勇理事長の開会のあいさつから始まりました。

そして、韓国支部運営委員の紹介後、尹会長の就任のあいさつがあり、韓国においても神奈川歯科大学の誇りをもって口腔衛生活動にまた診療に従事するとの言葉がありました。

祝辞といたしまして、会長代理の相原元一が会長の祝辞を代読し、続いて、李 昌一教授のあいさつがありました。

同窓会韓国支部設立記念特別講演として、木本茂成教授の「幼若永久歯の歯内療法」そして、小牧基浩教授の「Yagレーザーを用いた非外科的歯周治療」のテーマで講演が行われ大変、好評でした。

懇親会は、おいしい料理を中心にしっかりお酒もいただき楽しく和やかな会となりました。午後6時より始まり9時までの3時間でしたが、佐藤 清教授のあ

いさつ、そして最後に櫻井 孝学長の閉会の辞があり、閉会式となりました。

グック副会長より韓国支部設立の苦労を伺いましたが、これからは、同窓会本部とのより密な関係を構築したいとの要望もありました。

韓国支部設立を受け今後、台湾支部の設立も考えられており、同窓会本部としてもよりグローバルな活動が求められていると感じた一日でした。



第99回代議員会報告

2025年2月15日（土）午後2時より、神奈川歯科大学キャンパスセンター2階 多目的ホールにて、神奈川歯科大学同窓会第99回代議員会が開催された。



大館 満会長挨拶



鹿島 勇理事長挨拶



櫻井 孝学長挨拶

【開会・仮議長の選出】

飯塚 務先生（東京支部連合会）が選出された。

【開会の辞】

相原元一副会長が挨拶。昨年開催された「第71回全国歯科大学同窓・校友会懇話会（全歯懇）」の成功報告と、来年度実施予定の同窓会50周年記念事業への協力を要請。

【点呼と会議成立の確認】

代議員総数75名中64名（正59名、予備5名）が出席し、会則に基づき会議の成立が確認された。

【新議長・副議長の選出】

議長は、篠原一也先生（東京都支部）、副議長は、外池利夫先生（神奈川県支部）を選任。

【議事録署名人の選出】

皆川 浩之先生（神奈川県支部）、綱川統雅先生（栃木県支部）の2名を選出。

【会長挨拶（大館 満 会長）】

コロナ禍後、久々の対面会議の開催に感謝。活発な議論を期待。日歯連盟の参与に就任し、会合に出席。次期選挙が厳しい見通しで、福岡歯科大学同窓会からの支援依頼を受ける予定。会則改正特別委員会の中間報告について、部分的に協議を予定。長丁場となるので協力を呼びかけ。

【理事長挨拶（鹿島 勇 理事長）】

新キャンパスセンターが国際的建築賞を受賞、韓国建築雑誌にも12ページで掲載。文科省主催の教育建築コンテストで全国トップを走行中。キャンパスセンターのデザインが高評価を得ており、過去の否定的評価から一転、喜びを表明。学生確保が好調であり、同窓会の支援に感謝。「俯瞰力」「横這い力」などをテーマとした大学と法人のビジョンを報告。新戦略「コンステレーション構想」に基づく10年計画を推進中。東京・芝浦の再開発ビル「ブルーフロント芝浦」内に、シミックHDと連携して2026年4月に「ブルーフロントサテライトクリニック」開院予定。羽田空港や日本橋拠点との連携で、大学の「広告・ブランディング・収益化」体制が完成に近づいている。今後、代議員からの質問に答える場の設置を希望。

【学長挨拶（櫻井 孝 学長）】

コロナ以降久々の代議員会での発言機会に感謝。国家試験の合格率は、2014年以降全国平均を上回っており、教育成果は一定の成果を上げている。留年率は以前の20%超から13%に減少。さらなる改善に取り組み中。今年度から公的化された共用試験（CBT・OSCE）に4年生が初めて挑戦、今後の国家試験受験に影響する重要試験。研究面では、特定領域に集中した成果を目指し、「唾液化学」や「VR教材・防災アプリ開発」などが国内外で注目されている。臨床収支は全国でもトップクラス。

【福岡歯科大学同窓会松島一夫副会長挨拶】

2025年7月の参議院選挙で歯科医師連盟推薦候補・比嘉 奈津美氏（福岡歯大8期卒）への支援を神奈川歯科大学同窓会に呼びかけた。比嘉氏は現場経験のある貴重な歯科医師出身議員であり、「自民党」ではなく「比嘉 奈津美」と記名投票する必要があることも説明。全国での精力的な活動への理解と協力を求めた。

【物故会員への黙禱】

特別会員 1 名、正会員 25 名に対して黙禱を実施（徳島理事が担当）。

【報告事項】

会務報告

同窓会役員・委員・部会・会計現況報告

資料をもとに報告。

予算決算特別委員会報告

令和 6 年度第 1 回委員会（2024 年 7 月）で令和 5 年度決算を仮承認。第 2 回委員会（2024 年 12 月）では、令和 7 年度予算案等の上程を承認。

会則・規則改正特別委員会報告

委員会を 2 回開催。

会員資格・会費免除に関する諮問など各支部から意見を聴取したが結論は保留。

協議題にて再度検討予定。

表彰選考委員会報告

有功章として中川賢治先生（新潟県支部）、相原元一先生（静岡県支部）を表彰。全会一致で承認。

奨学者審議部会報告

今年度は申請者がいなかったため報告なし。

同窓会創立 50 周年記念事業実行委員会報告

記念式典を 2025 年 10 月 18 日（土）13 時から、横浜ベイホテル東急で開催予定。

参加費 1 万 5,000 円。参加者 350 ～ 400 名を想定。

学内報告

学長・理事長の報告をもって学内報告とし、追加報告なし。

学会報告（槻木副学長）

神奈川歯科大学学会が 60 周年記念大会を 2025 年 6 月 21・22 日に開催予定。

抄録が届いていない場合は事務局へ連絡を。

質疑応答

（下池予備代議員による質問）

会議費内の「クラス代表者連絡会議」「女性会員参画推進委員会」の予算が執行されていないことについて質問。

（会長より回答）

クラス会は若手会員の参加促進のための横のつながりを作る目的で開催されていたが、コロナ禍で中断。女性委員会は当初アンケート実施を検討していたが、時代背景や意見の多様性から再開方法を検討中。

【議事（第 1 号議案～第 22 号議案）】

第 1 号議案～第 9 号議案：令和 5 年度 各会計決算報告、一般会計（通常・安定化資金）、事業基金、福祉共済、奨学金、前受金、災害支援基金等、各種会計の歳入歳出決算報告。

要資産廃棄・資産目録も含め、一括上程され、仮承認済のため特に異議なし。

奥村監事より、会計および会務執行について適正である旨の監査報告。挙手多数により一括可決。

第 10 号議案：予算決算特別委員の選出

任期満了に伴い、議長一任にて委員選出決定（拍手で承認）。

第 11 号議案：選挙管理委員の選出

任期満了に伴い、執行部一任にて選出決定（拍手で承認）。

第 12 号議案～第 22 号議案：令和 7 年度 事業計画・予算案

令和 7 年度の事業計画、歳入歳出予算案を一括上程。

一部議案で質疑応答あり。

加藤代議員（山形県）：支部・地区への助成金がコロナ禍対応時より減額（元の水準に戻しただけ）されており、可能な限り会議のオンライン化等で支出抑制を行い、支部支援を継続してほしい旨を要望。

山田常務理事：減額はコロナ特例からの復元であること、会議の多くは既にオンライン実施されていることが説明された。

第15・16号議案（事業基金会計）：創立50周年記念事業に関して、事業基金から1,600万円を拠出。記念誌作成に800万円予算。

全議案全て、質疑後に多数の賛成で可決成立。

【協議事項】

（1）会則・規則改正特別委員会からの答申について

名誉会員枠の新設：不要と判断し廃案。

会費免除（75歳以上・閉院時）：制度の複雑さや今後の高齢化を考慮し、引き続き協議が必要。自由選択制や支部長申告による免除などが検討対象。

会則の在籍年数・種別（甲・乙）：様々なケースがあり、公平性を確保するためさらに精査が必要。大分の三浦代議員が具体例を挙げて提案。

寄附金制度：寄附金の受入についての項目を新たに設けることはしない→廃案。なお、学校法人への寄附は控除対象で推奨。

所属支部の取り扱い：閉院・異動などにより所属が曖昧になる会員は「本部直属」とする案を委員会が了承。

選挙（会長・監事）の実施方法：郵送投票導入には課題が多く、封筒ミス等のリスクもあり慎重に検討中。リアル会議は年3回、残りはWeb会議で支障なしだが、選挙だけは継続協議とされた。

（2）神奈川歯科大学同窓会年金制度の改廃について

制度は平成20年度に廃止方向で合意され、当初25名の加入者のうち24名は解約済み。1名のみ連絡が取れず、現時点で年額1,992円が払い出され続けている。同窓会の会員ではなく、元スタッフ（歯科助手等）であると推定。今後、理事会で検討し、次回の代議員会で正式に改廃案として提案予定。

【閉会】

山口幸一副会長から、閉会を述べる。

記：高橋 朗（12回生 総務担当常務理事）



有功章受章者を囲んで

（左）中川賢治先生（新潟県支部）、（右）相原元一先生（静岡県支部）



会場の様子

令和6年度定例総会報告

2025年2月15日（土）午後5時30分から、神奈川歯科大学キャンパスセンター2階 多目的ホールにて、神奈川歯科大学同窓会 令和6年度定例総会が開催された。

【開会】

平良恵信副会長より、令和6年度定例総会の開会が告げられた。

【議長の選出】

北海道支部の金山美博先生が、議長に選出された。

【議事録署名人選出】

37番、古屋延明先生、38番、田島達彦先生が選出された。

【会長挨拶】

大館満会長から、長時間、代議員会ありがとうございました。お疲れだと思いますが、総会もよろしくお願いたします。

【報告】

篠原一也代議員会議長から、第99回代議員会が開催され、第1号議案から第24号議案まで全て可決、承認された旨の代議員会報告があった。

【議事】

代議員会において、第1号議案から第24号議案まで可決されたので、一括上程して採決された。挙手多数、可決承認された。

【閉会の辞】

嶋中繁樹副会長の閉会の辞で閉会した。

記：高橋 朗（12回生 総務担当常務理事）

歯科医師・従業員のみなさまへ。あなたにも“プラス”を。

掛金はぜんぶ所得控除になるから、税金がお得に！

一生渡りもらえる年金を上乗せできます！

人生100年時代のプラス年金

国民年金基金

100年

80代

60代

40代

20代

kokkyo

国民年金基金

60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で、国民年金に任意加入されている方も国民年金基金に加入できます。※非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。

資料請求・ご相談・お問い合わせはお気軽に今すぐこちらへ！

0120-155-950

動画で知ろう 賢い資産の増やし方
社会保険労務士が解説します！

令和5年度 一般会計歳入・歳出決算収支計算書

自：令和5年4月1日
至：令和6年3月31日
(単位：円)

『歳入の部』	令和5年度予算額		令和5年度決算額	
1. 会費	2,663 口	36,635,000	2,416 口	32,910,000
2. 入会金	57 口	1,710,000	54 口	1,620,000
3. 負担金収入（甲種）	270 口	1,080,000	216 口	864,000
4. 学術収入		600,000		710,000
5. 繰入金		300,000		300,000
6. 寄付金		1,000		0
7. 雑収入		610,000		536,419
①預金利息（一般会計）		1,000		129
②預金利息（特別会計）		1,000		184
③広告料		450,000		410,080
④カード手数料		155,000		124,026
⑤その他		3,000		2,000
8. 繰越金		18,000,000		16,063,636
歳入合計		58,936,000		53,004,055

『歳出の部』	令和5年度予算額		令和5年度決算額	
1. 事業運営費		46,866,000		35,811,377
内、予備費		1,099,000		
2. 事業運営安定化資金		1,000,000		1,000,000
3. 事業基金会計		5,204,000		4,598,000
甲種（2,602口）			甲種（2,299口）	
4. 福祉共済部会計		5,866,000		5,264,000
甲種（2,602口）			甲種（2,299口）	
乙種（331口）			乙種（333口）	
5. 奨学金基金会計		0		0
歳出合計		58,936,000		46,673,377
次年度繰越金（収支差額）				6,330,678

神奈川歯科大学同窓会
会長 大館 満 殿

監査報告書

私達は、会則第12条の定めに従い、神奈川歯科大学同窓会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度会計並びに会務執行の監査を行った。

令和5年度会計に於ける歳入・歳出に関する決算書について、精密なる監査を実施せるところ、証拠書類その他についていささかも不備が認められなかったことを証明する。

また、会務の執行については、会則に準拠し適切妥当に執行されたものであることを認める。

令和6年5月18日

監 事 細 谷 孝 明

監 事 奥 村 敏 之

監 事 七 沢 久 子

令和7年度 一般会計歳入・歳出予算

自：令和7年4月1日
至：令和8年3月31日
(単位：円)

『歳入の部』	令和6年度予算額	令和7年度予算額
1. 会費	34,410,000	32,240,000
2. 入会金	1,620,000	1,620,000
3. 負担金収入	1,452,000	1,756,000
4. 学術収入	600,000	600,000
5. 繰入金 同窓会年金会計より	75,000	0
6. 寄付金	1,000	1,000
7. 雑収入	994,000	524,000
8. 繰越金	16,000,000	18,695,000
9. 一般会計 - 2 (事業運営安定化資金)より受入金	3,500,000	0
歳入合計	58,652,000	55,436,000

『歳出の部』	令和6年度予算額	令和7年度予算額
1. 事業運営費	46,794,000	43,080,000
内、予備費	(1,006,000)	(1,006,000)
2. 事業運営安定化資金拠出金	1,000,000	1,000,000
3. 事業基金会計拠出金	5,084,000	4,954,000
4. 福祉共済部会計拠出金	5,774,000	5,622,000
5. 奨学金基金会計拠出金	0	0
6. 職員退職金積立会計拠出金	0	780,000
歳出合計	58,652,000	55,436,000

歳出の部 事業運営費内訳明細

自：令和7年4月1日
至：令和8年3月31日
(単位：円)

款	科 目		令和6年度 予算額	令和7年度 予算額	比較増減 (△は減)	増減率% (△は減)	構成率 %
	項	目					
1.	事務費		12,382,000	13,628,000	1,246,000	10.06%	31.63%
	1.	職員給与費	7,443,000	9,222,000	1,779,000	23.90%	
	2.	諸手当費	1,105,000	1,416,000	311,000	28.14%	
	3.	特別手当費	1,985,000	1,307,000	△ 678,000	△ 34.16%	
	4.	税理士報酬費	467,000	467,000	0	0.00%	
	5.	福利厚生費	751,000	585,000	△ 166,000	△ 22.10%	
	6.	雑費	631,000	631,000	0	0.00%	
2.	需要費		5,969,000	6,569,000	600,000	10.05%	15.25%
	1.	備品費	452,000	452,000	0	0.00%	
	2.	消耗品費	500,000	500,000	0	0.00%	
	3.	印刷費	1,366,000	1,366,000	0	0.00%	
	4.	通信費	2,250,000	2,850,000	600,000	26.67%	
	5.	交交通費	1,401,000	1,401,000	0	0.00%	
3.	事業費		14,355,000	12,275,000	△ 2,080,000	△ 14.49%	28.49%
	1.	学術費	8,395,000	6,365,000	△ 2,030,000	△ 24.18%	
	2.	組織費	2,200,000	1,850,000	△ 350,000	△ 15.91%	
	3.	広報費	1,600,000	1,900,000	300,000	18.75%	
	4.	福祉厚生費	1,760,000	1,760,000	0	0.00%	
	5.	情報処理費	400,000	400,000	0	0.00%	
4.	会議費		6,722,000	6,722,000	0	0.00%	15.60%
	1.	総会費	10,000	10,000	0	0.00%	
	2.	代議員会費	3,650,000	3,650,000	0	0.00%	
	3.	支部長会費	20,000	20,000	0	0.00%	
	4.	常務連絡会費	80,000	80,000	0	0.00%	
	5.	理事会費	1,751,000	1,751,000	0	0.00%	
	6.	監事会費	224,000	224,000	0	0.00%	
	7.	各種委員会費	987,000	987,000	0	0.00%	
5.	渉外費		5,660,000	2,200,000	△ 3,460,000	△ 61.13%	5.11%
6.	社会貢献費		0	0	0	0.00%	0.00%
7.	還付金		700,000	680,000	△ 20,000	△ 2.86%	1.58%
8.	予備費		1,006,000	1,006,000	0	0.00%	2.34%
	事業運営費歳出合計		46,794,000	43,080,000	△ 3,714,000	△ 7.94%	100.00%

令和7年1月から6月までの会務報告

月	日	曜	行 事	出席者・講師
令和7年 1月	17	金	第6回情報処理部 Zoom 練習会	
	18	土	第4回常務連絡会 (Web 会議)	
	19	日	千葉県支部新年祝賀会・社保講習会	山田常務、講師：須崎 満先生
	25	土	大分県支部学術講演会	講師：内田雄望先生 (21 回生)
			東京都支部新年懇談会	大館会長
	26	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 『歯周組織再生療法 成功のためのストラテジー』	桂副会長 講師：奈良嘉峰先生
31	金	日本大学歯学部同窓会創立 100 周年記念式典特別講演会・祝賀会	大館会長、植村常務、芦田理事	
2月	1	土	九州地区連合会支部長・代議員会議	平良副会長、奥村監事
			大阪府支部総会・社保講習会	山田副会長
			神奈川県支部新年会	大館会長
	8	土	福島県支部学術講演会	講師：川上正人先生
	9	日	第41回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者 連絡会 第2回準備会 (松本歯科大学校友会主幹) Web 会議 (Zoom)	山中常務・前畑理事
	15	土	第5回理事会	
			創立 50 周年記念事業第 2 回実行委員会	
			令和 6 年度第 1 回支部長会	
令和 6 年度第 1 回福祉共済部運営委員会				
17	月	第 99 回代議員会／令和 6 年度定例総会		
		代議員会懇親会・退職教授慰労会・就任教授祝賀会		
23	日	第 11 回学術委員会 (Web 会議)		
3月	1	土	青森県支部発会 40 周年記念式典・祝賀会 青森県支部学術講演会	来賓：櫻井学長 大館会長、講師：秋本 進先生 (8回生)
	2	日	私立歯科大学・歯学部同窓・校友会連絡協議会 12 校会長・専務会	大館会長、桂副会長
	8	土	7 回生クラス会	
	12	水	神奈川歯科大学卒業式	
			第 56 回生謝恩会	秋本専務、平田常務
	14	金	第 6 回情報処理部 Zoom 練習会	
	15	土	創立 50 周年記念事業第 3 回実行委員会	
			第 5 回常務連絡会 (Web 会議)	
27	木	神奈川歯科大学韓国支部同窓会発足式	相原副会長	
		第 12 回学術委員会 (Web 会議)		
		木本 茂成教授退任記念祝賀会	大館会長	
4月	3	木	神奈川歯科大学入学式	大館会長
	5	土	山形県支部総会・学術講演会	講師：安達隆帆先生
			稲岡会 (横須賀地区同窓会) 創立 50 周年記念式典・祝賀会	大館会長
	19	土	令和 7 年度第 1 回情報処理部 Zoom 練習会	
			令和 7 年度第 1 回常務連絡会 (Web 会議)	
			創立 50 周年記念事業第 4 回実行委員会 (Web 会議)	
新潟県支部第 42 回総会ならびに講演会			講師：滝澤賢一先生 (23 回生)	
22	火	第 1 回学術委員会 (Web 会議)		
27	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 『歯科医院とともに歩める歯科衛生士になろう -基本治療からメンテナンスまで真に診れる歯科衛生士を目指して-』	山口副会長 講師：丸橋理沙先生	
5月	17	土	令和 7 年度第 1 回監事会	
			令和 7 年度第 1 回理事会	
			創立 50 周年記念事業第 5 回実行委員会	
	18	日	学校法人神奈川歯科大学理事との懇談会	大館会長、相原・小野・桂・山田・ 平良・山口・金子副会長、秋本専務、 植村・高橋常務
			千葉県支部総会・学術講演会	講師：西久保 周一教授 (28回生)
	24	土	広島県支部・稲岡会令和 6 年度通常総会・保険講習会懇親会	講師：広島県歯科医師会副会長 保 険部長 森本 進先生
	25	日	愛知県支部総会	小野副会長
29	木	日本歯科医師連盟第 3 回参与会議	山口副会長	
30	金	第 2 回学術委員会 (Web 会議)		
6月	1	日	東北大学歯学部同窓会発足 50 周年記念講演会・式典・祝賀会	大館会長
	10	火	第 2 回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会関東支部協議会 (Web 会議)	山中常務、別部・前畑理事
	13	金	第 2 回情報処理部 Zoom 練習会	
	14	土	第 2 回常務連絡会 (Web 会議)	
			創立 50 周年記念事業第 6 回実行委員会 (Web 会議)	
	21	土	神奈川歯科大学学会創立 60 周年記念祝賀懇親会	大館会長
	23	月	第 3 回学術委員会 (Web 会議)	
28	土	第 15 回 神奈川県人会	大館会長	
		第 1 回 広報委員会 (Web 会議)		

令和6年度 第1回表彰選考委員会報告

日 時：令和6年12月1日(日)午後3時より

会 場：横浜研修センター 6階教室

出席者：栃内・長谷川・山田(昭)・篠原・綱川・長堂委員

オブザーバー：大館会長、山口副会長、秋本専務理事、大川原理事、細谷監事

1. 開会 委員 栃内 明啓

2. 報告

第33回表彰推薦者（令和5年度 第98回代議員会にて表彰）

有功章 4回生 故 岩本 憲（長崎県支部）

有功章 3回生 鷺頭 正大（埼玉県支部）

3. 審議

第34回表彰推薦者（表彰選考委員会審議後、理事会・代議員会の在宅審議を経て第99回代議員会にて表彰）
（届出日付順）

有功章 4回生 相原 元一（静岡県支部）

有功章 3回生 中川 賢治（新潟県支部）

推薦書をもとに有功章での推薦のあった上記2名について、協議の結果、表彰規則第3条2項により全会一致で承認された。

4. その他

長堂委員：【要望】表彰規則第3条2について、次期支部長が決まらず10年以上も支部長を務めている先生がいる。自分での推薦でなく地区連合会などからも推薦ができればよいのではと感じた。何よりもご本人が元気なうちに受賞できた方がうれしいのではないか。

【質問】前回、有功章を受賞された鷺頭先生は20年ほど前にも受賞（表彰）されている。受賞の回数に制限はないのか。

【回答】前は表彰、昨年度は有功章を受賞されている。表彰と有功章はかぶってもかまわない。有功章の2回受賞はない。

5. 閉会 委員 栃内 明啓

（在宅議事令和6年度第1号）第34回表彰者につきまして

（令和6年12月20日～令和7年1月8日）

表彰規則第4条に基づき、令和6年12月20日より令和7年1月8日までの期間で、代議員各位に在宅議事として審議を諮り、以下の通りの承認をいただきました。

推薦者2名とも1/2以上の賛成をいただきましたので、第34回表彰者につきましては、承認といたします。

有功章（2名）	承認する	異議あり	未回答
相原 元一（静岡県支部）4回生	60名／75名中	0名／75名中	15名／75名中
中川 賢治（新潟県支部）3回生	60名／75名中	0名／75名中	15名／75名中

槻木恵一先生講演会報告記

横山 穰 (31 回生・岡山県支部)



2024年11月3日（日）、ホテルグランヴィア岡山にて、神奈川歯科大学教授 槻木恵一先生をお招きし、「唾液は魔法のカクテル ―驚異の唾液学が解き明かす一滴からのメッセージを見逃すな―」と題し、学術講演会が行われました。大館会長の開会挨拶をかわきりに、2時間のご講演が行われ、31名が受講しました。槻木先生は本学教授として、口腔病理診断学・唾液腺健康医学・環境病理学・災害歯科医学等の幅広い分野でご研究されておられます。そのため、本講演内容は、槻木先生の研究内容を基とし、基礎医学が臨床に応用されることで、多くの患者さんの役に立てる可能性をお示し頂き、まさに基礎と臨床の融合と言うべき内容

でした。我々の主戦場である口腔は生体の免疫機構においては最前線でもあります。ここでまさに防人として中心的役割を担う、唾液中のIgA抗体の重要性を再認識させて頂きました。個人的には、IgA抗体にはう蝕や歯周病等の病原細菌に対する特異的な免疫応答能のみならず、多くの外来侵入物に対する網羅的な応答能も有している可能性が示されたことに大変興味を持ちました。IgAを中心に免疫力の強い体を作るためには唾液ケアが重要であり、この唾液ケアには、軽い運動、口腔清掃、腸活、ビタミン摂取という4法が推奨されていることをお示し頂きました。これまで我々は「唾液の量」ばかりに意識が向いていましたが、「質」も向上させることで、患者さんの口腔および全身の感染予防に大きく寄与しうる可能性に触れ、明日からの臨床にさらなる勇気と希望を見出す事が出来ました。最後の質疑応答では、当日ご出席頂いた先生方からたくさんのご質問を頂き、活発な意見交換がなされ、盛会のうちに無事閉会となりました。

講演内容は全て、国民の健康寿命延伸を目的とし、臨床に大きく役立つ有意義な講演会でありました。



青島徹児先生講演会報告記

学術委員会委員 藤野拓郎 (43 回生)



2024年11月10日（日）、神奈川歯科大学附属横浜研修センターにおいて、埼玉県青島デンタルオフィス院長 青島徹児先生をお招きし、「Posterior Adhesive Restoration A to Z - DirectからOverlay Restorationまで-」と題する学術講演会が、ハイブリッド形式で開催された。

青島先生は、Direct RestorationとOverlay Restorationそれぞれの適応症を明確にしつつ、数多くの症例写真を用いて審美性と機能性を両立させた治療法を解説された。特にDirect Restorationでは、歯の色や質感などを再現する生体模倣修復の重要性、Overlay Restorationでは、歯質の保存を最大限に図るための新しい形成デザインと接着技術について、臨床経験に基づいた詳細な説明がなされた。さらに、先生ご自身が経験された臨床トラブルとその解決策、長期的な経過観察から得られた知見など、実践的な内容も豊富に盛り込まれていた。

講演後の質疑応答では、会場およびWeb参加者から活発な質問が寄せられ、修復治療に対する理解を深めるための有意義な時間となった。



奈良嘉峰先生講演会報告記

学術委員会委員 藤野拓郎 (43 回生)

2025年1月26日(日)、神奈川歯科大学附属横浜研修センターにおいて茅ヶ崎駅前奈良デンタルクリニック院長 奈良嘉峰先生をお招きし「歯周組織再生療法成功のための戦略」と題した学術講演会がハイブリッド形式で開催された。

奈良先生は、中等度から重度の歯周炎罹患歯の抜歯か保存かの判断には、歯周組織の状態に加え、残存歯質量、隣接歯の予後、補綴計画、患者の希望など様々な要素を考慮する必要があるとした上で、可能な限り歯の保存に努めることが歯科医師の責務であると述べた。

歯周組織再生療法の歴史と現状について解説し、特に骨欠損部における再生スペース確保の重要性を強調した。エムドゲインやリグロスの各特徴を適応症とともに解説し、また、再生マテリアルの変遷とともにフラップデザインも変化してきたことに触れ、GTR法からMISTやM-MISTといった低侵襲なフラップデザ

インを紹介。フラップデザインは再生スペースにも影響を与えるため、骨欠損形態に応じた選択が重要であると述べた。

講演では、症例選択や実際の術式のポイントなど、歯周組織再生療法の成功に向けた具体的な戦略が提示され、参加者にとって大変有意義な内容であった。





神奈川歯科大学同窓会山形県支部たより

加藤克彦（11回生・山形県支部支部長）



加藤克彦先生

2025年4月5日午後5時半より天童温泉「湯坊いちらく」にて令和7年度学術講演会・総会を行なった。参加者は鈴木正憲先生（8回生）、佐藤寿之先生（13回生）、富樫雅比古先生（14回生）、星川知佳子先生（14回生）、佐藤正知先生（24回生）、結城光隆先生（30回生）、加藤克彦（11回生）であった。会員15名（4名は本部会費免除）のうち7名の参加となった。

はじめに学術研修会として、GC卒後研修講師の安達隆帆先生（10回卒安達節洋先生ご子息）を講師として、「吸着下顎総義歯の印象について」と題して1時間のご講演をいただいた。下顎総義歯が安定するには印象と咬合が大切であり、今回は機能印象についてのご講演で、辺縁封鎖を得るための診査・診断、概形印

象、精密印象について、手技を動画を交え分かりやすくお話ししていただいた。

総会では令和6年度活動の報告、令和6年度決算案・令和7年度活動計画案・予算案の承認、75歳以上（本部会費免除）の会費の変更について承認をいただいた。また、会員の高齢化を考慮して、福利厚生費を別枠にした。来年は東北地区連合会の当番県に当たり講師候補についても話が出た。決議事項が多く質問も多数あり、盛り沢山の会議になった。懇親会では近況報告などで話に花が咲いた。

山形支部は在籍15名会員のうち9名が70歳を越し、30回生を最後に10年以上新規会員が入会されていないのが現状で、80歳を超えられた会員もおります。新規会員を首を長くして待っています。いつも支部の活動にご支援いただき、本部には感謝しております。





群馬県支部学術講演会報告

講師 齋藤正寛 先生
特別講演 齋藤 滋 先生

2024（令和6）年11月9日、前橋医療センターにて神奈川歯科大学同窓会群馬県支部学術講演会が開催されました。参加人数は他校OBを含めて30名を超える人数が集まり過去最高となりました。

講師は本校20回生、東北大学大学院歯学部研究科・エコロジー歯学講座教授歯内療法科科長 齋藤正寛先生に『根尖性歯周炎の謎～顎骨の免疫と再生～』の演題でお願いいたしました。先生の講演は明瞭で、興味深く、時間の経過を忘れる程でした。内容は歯内療法の基本から何故、治療しても治らない根尖病変があるのか？等、難治性の根尖病変について全身的な要因からお話をいただき、全身状態による免疫力が根尖部病

亀山 正（25回生・群馬県支部学術担当理事）

変にも影響し、標準的な根管治療を行っても難治性の症例があるとのことでした。

後半は教授が携わっているベンチャー企業の概要やどんな人がベンチャー企業の社長に向いているかなど、我々にも将来性のあるお話を伺いました。

最後に齋藤正寛教授のご尊父である齋藤 滋名誉教授（生化学教室）に歯科医師としての在り方、生き方について特別講演をしていただき閉会となりました。その後の懇親会も学生時代の苦楽話に花が咲き、盛会のうちに幕を閉じました。尚、大変残念な事に滋先生は2025（令和7）年2月にご逝去されました。ご存命の折、最後に貴重なお話を拝聴させて頂き会員一同感謝しております。末筆ながら謹んでお悔やみ申し上げます。





よ坊さん

近況報告と支部創立40周年に向けて



柴田武士先生

当支部では、年2回（春期、秋期）の学術講演会を定期開催しています。令和6年度は本学分子生物学講座口腔細菌学分野教授の浜田信城先生をお招きし、「口腔感染症と静菌義歯について」講義いただきました。

本講演では、歯周病の原因となる細菌の一種である *Porphyromonas gingivalis*（ポルフィロモナス・ジンジバリス）の病原因子について解説があり、*P. gingivalis*の病原性を抑制する方法や口腔環境の健全化に役立つ方法として、酸化亜鉛を応用し開発されたAD-PSJを含む「静菌義歯」や「静菌マウスピース」が有効であるとの報告がありました。超高齢社会を迎えた現代において、高齢者の口腔衛生環境を守ることは私たち歯科医療者にとって至上命題となっていますが、浜田先生の推奨する静菌義歯が広く普及すれば、国民の健康増進に大きく寄与するものとなることとします。講演会後の懇親会においても、浜田先生と会員との間で活発な意見が交わされ、また思い出話にも花が咲き、大いに盛り上がった静岡の夜となりました。

また、当支部は今年、創立40周年を迎えるにあたり記念式典および学術講演会を11月9日（日）ホテ

柴田武士（29回生・静岡県支部専務理事）

ルアソシア静岡（静岡市）にて開催を予定しております。講師に本学特任教授の前畑 香先生をお招きし、「－保険収載に備えて学ぼう！－従来法コンプリートデンチャーとデジタルデンチャーの違い」ご講演をいただきます。本部共催学術講演会として既に会員皆様へ通知されておりますが、多くの会員先生方のご参加をお待ちしております。

さてここからは、静岡県の活動を紹介させていただきます。静岡県と（一社）静岡県歯科医師会は、県内の歯科保健医療提供体制の安定化を図るために【静岡県歯科医療従事者バンク <https://shizuokadentistbank.jp>】を開設しました。本県は歯科医師の高齢化が進む一方、医院継承が少なくなり準無歯科医地区が多くなっています。地域によっては訪問歯科診療の需要が多く、既存医院への経済的、体力的な負担が大きくなっており、県内に定着する歯科医療従事者の確保は急務となっています。県内には歯科大学がないため、各歯科大学・歯学部と同窓会、校友会県支部に本事業の周知に関して協力を求められております。誌面を拝借させていただく形となり恐縮ですが、静岡県内の歯科保健医療提供体制の安定化のため、同窓会会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



浜田教授をお迎えした令和6年度春期講演会



神奈川歯科大学同窓会愛知県支部総会

菱川秀樹（18回生・愛知県支部専務理事）

2025年5月25日（日）、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋「たん熊北店」にて平成6年度総会が12名の出席にて開催されました。

当日は5月の季節柄、体調を崩される会員や地区の歯科医師会事業と重なり、若手の会員の多くに欠席が見受けられ、少し寂しい総会でありました。令和6年度事業報告、予算収支報告、監事報告に続き議案承認後、令和7年度事業案および予算の承認が可決いたしました。

コロナ禍で顔を合わせる機会がなく久しぶりに参加された方も多く近況報告から始まり、さながら安否確認のようでした。同窓会本部副会長 小野秀樹先生から大学の報告がなされ、3回生青木先生の乾杯へ続けました。同窓会の集まりは同窓生との連携や相談、情報交換の場として大切な役割です。今回は70歳を迎える先輩方の医院継承のお話や閉院の準備など大変

役に立つお話が聞けました。私もお顔を拝見するだけでどこか昔を思い出し、懐かしさと哀愁を感じる年齢となりました。その後の懇親会では銘々いろいろな話題で盛り上がりました。

誰かの歌のように縦の糸は（先輩・後輩）、横の糸は（同級生）だと感じました。

益々お元気な先輩方とお話して我々も頑張りたいと思いました。やはり顔を見ての会話はある意味、兄弟や親せきの身内の話として聞きやすく、有難いものだと思います。回生間のつながりが希薄にならないようにネットワーク機能や情報の共有化を図りたいと考え、今後も顔を見ての集まりは重要で、元気なうちに出ると先輩方におっしゃられると継続に課題は多いですが重要さを実感しました。まだまだ話がつきない様子でしたが、盛況のうちに閉会となりました。



後列右から 鳥居ゆか 19回生、菱川秀樹 18回生、高橋 泰 26回生、大竹範彦 12回生、大竹豊彦 16回生、河合茂樹 13回生、服部 徹 8回生の各先生
前列右から 立松志朗 8回生、杉木正史 5回生、青木金夫 3回生、小野秀樹 7回生の各先生



神奈川歯科大学同窓会広島県支部・稲岡会

山口 真一郎 (32回生・広島県支部)

2024年11月30日(土) ANAクラウンプラザホテル広島において、学術講演会・懇親会を開催した。午後5時、玉山廣忠副会長(18回生)の司会進行のもと、西谷 満会長(21回生)の挨拶により学術講演会が開会された。学術講演会は、福岡県・歯科内田クリニック院長 内田雄望先生(21回生)を講師にお招きし、ご講演いただいた。「保険の義歯をどう作るか…」と題して、臨床ケースを多数織り交ぜた内容でたいへん分かりやすく解説していただいた。開業医がほとんどである当会会員にとっては興味深く、臨床でのポイントがちりばめられた講演を聴講でき、参加した会員からはたいへんな好評を博した。

続いて、同ホテル内にて懇親会が開催された。山口

真一郎専務理事(32回生)の司会進行のもと、西谷会長による開会挨拶、梶田理絵先生(32回生)による新入会のご挨拶、藤井久富顧問(2回生)のご挨拶と続き、山口隆志顧問(5回生)の乾杯のご発声により開宴した。例年の懇親会では、卒業年度による席順としていたが、今回は抽選箱を準備し、入場時の抽選にて配席された。世代の離れた先輩後輩が同じ卓となる例年とは異なったスタイルで、今まで以上に世代の垣根を感じさせない楽しいひとときを過ごした。そして会の後半では、横村康彦理事(37回生)のタクトで、恒例の出席者全員での校歌斉唱。午後8時30分、全日程を盛会のうちに終了した。





令和6年度通常総会・保険講習会・懇親会

山口真一郎（32回生・広島県支部）

2025年5月24日（土）「ホテルグランヴィア広島」において、令和6年度通常総会・保険講習会・懇親会が開催された。山口 真一郎（32回生）専務理事の司会のもと、午後6時から総会が開催された。西谷 満会長（21回生）の挨拶後、大保順一氏（9回生）が総会議長に選出され、執行部から令和6年度会務概況報告・各部事業報告・次年度事業計画案の説明がなされた。その後、出席者による慎重審議の結果、執行部より上程された議案は全て可決承認された。続く保険講習会では、玉山廣忠副会長（18回生）を座長として、広島県歯科医師会副会長・保険部長の森本 進先生に「令和6年診療報酬改定の留意点」の演題でご講演をいただいた。改定後の新たな変更点などをわかりやすく説明していただき、保険診療を主とする当会会員からはたいへん好評であった。その後、同ホテル内にて

会場を移し、懇親会を開催した。山口専務理事の司会のもと、西谷会長の開会挨拶、道佛雄次氏（4回生）の挨拶へと続き、玉山副会長による乾杯の発声で宴を催された。昨年度「広島県学校歯科医永年勤務表彰」を受けた川口裕之氏（21回生）には突然司会者から一言スピーチが振られ、急遽ではあったが堂々とした川口氏のスピーチによって場はさらに盛り上がった。宴会の最終盤では、玉山副会長が振るタクトに従い、毎年恒例の参加者全員での校歌斉唱となった。総会・保険講習会の緊張感から解放された4回生から46回生までの総勢21名の参加者らは、みな楽しいひとときを過ごした。午後9時30分、歌野原 之副会長（6回生）の閉会挨拶にて全日程を盛会のうちに終了した。





大分県支部学術講演会

陶山直昭 (21 回生・大分県支部)



陶山直昭先生

2025年1月25日(土)午後4時半より「大分センチュリーホテル」にて大分県支部の学術講演会が開催されました。

今回は福岡県で開業されている内田雄望先生(21回生)を講師としてお招きし「同窓生に本音で語る 保険の義歯 ここだけの話」という演題で約2時間に渡って講演していただきました。

実は内田先生には5年前にもパーシャル・デンチャーに関連した講演で大分支部に招聘して大変好評だったことから「次回はフル・デンチャーでPART 2の講演をお願いします。」と以前から計画していましたが、コロナ禍の影響で叶わず、今回ようやく実現するに至りました。

内田先生は村岡秀明先生(3回生 千葉県支部)に長年師事し「コピーデンチャー」を用いた総義歯製作を臨床に取り入れているのですが、「やり方がよく分からない」という理由で実際に行なっている先生は少ないと思います。今回の講演ではコピーデンチャーの特

色や利点、そして製作の流れを各工程毎に詳細に解説していただきました。

現在の県は高齢化率34.2%(令和5年10月)という高齢化県で、毎日のように大勢の義歯の患者さんに向き合っている支部会員が殆どではないかと考えられます。私自身も特に顎堤が著しく吸収した下顎のフル・デンチャーの製作や調整に日々頭を悩まされているのが現状です。今回の講演ではコピーデンチャー以外に、そのような難症例の義歯に対するチェック事項や内田先生ならではの工夫、経費削減のための材料選択など正に「痒いところまで手が届く」ような内容が盛り込まれており、参加した先生方も大いに参考になったと思います。また内田先生は福岡県の医療保険委員会副会長を務めていて保険請求に関する博識であるため、講演の要所で言及される「保険のワンポイント・アドバイス」も個人的には有難かったです。

講演後の懇親会では義歯や保険の話題の他、大学時代や横須賀の話で夜遅くまで盛り上がりましたが、今後も内田先生の益々の御活躍をお祈り申し上げます。



7回生クラス会

桂 一平 (7回生)

令和7年(2025年)3月8日(土)に都内、新橋の第一ホテル東京で6年ぶりに7回生のクラス会を開催しました。

卒後50年のこの年、北海道から沖縄の離島、遠くアメリカから総勢65名が集まりました。受付開始時間の17時の一時間前から会場周辺に集まり始め、会場への入室を早めてもらいました。フリードリンクの飲み物も17時30分の開宴前からの提供に変更しました。同窓会会長でもある大館 満君の乾杯の挨拶の時には既に会場は華やかな雰囲気に入れ、久しぶりの再会を喜ぶ姿に、あらためて開催して良かったと実感しました。

前回の帝国ホテルでのクラス会からネームプレートに卒業アルバムの写真を貼るスタイルにしましたが、互いに写真と見比べその変貌に半世紀の時の流れを感じざるを得ませんでした。予想を超えた参加人数のために集合写真が撮れず、テーブルごとの撮影になってしまいましたが、むしろ楽しい雰囲気を感じる写真に

なったのではないのでしょうか。

今回出席を予定しながらも急遽都合により欠席となった人からお詫びにと、地元の焼酎を5本も差し入れがありました。いっそう酔いが回り、楽しい時を過ごし、3時間はあっという間に経ってしまいました。終宴が近づくと会場の内外で連絡先を交換している姿も見られ、互いに名残を惜しんでいました。

無事に予定通り20時30分に終宴となり、グループごとに二次会に出掛けたようです。

私たち幹事は今回で役目を卒業させていただきますと事前にお知らせしたところ、花束や地元のお土産を頂きました。また打ち上げにと、お金を置いていった人もいて都合4回開催したクラス会を喜んでいただけたのかなと、自己満足しています。

最後になりましたが、同窓会本部からの助成金がクラス会を開催する助けになりましたことを、報告させていただきます。



35回生クラス会を開催しました

香西雄介（35回生・大学支部）

2025年2月23日、横浜にて35回生のクラス会を開催いたしました。2004年に卒業した私たち35回生にとっては、節目となる卒業20周年にあたる年であり、クラス会としては実に10年ぶりの開催となりました。

今回は、20周年にふさわしい記念行事として、同期の中でも特にご活躍中の先生をお招きし、学術講演会を企画いたしました。クラス会に先立ち、午後4時より神奈川歯科大学附属横浜クリニックの6階教室にて、西田哲也先生（35回生・宮崎県開業）を講師に迎え、「超高齢社会に求められる高齢者義歯治療」という演題でご講演いただきました。

ご講演では、総義歯のリマウント調整に関する豊富な症例を体系的にご紹介いただき、参加した25名の同期にとって大変有意義な学びの時間となりました。

その後、午後6時より会場を横浜ベイシェラトン

ホテル&タワーズに移し、クラス会を開催いたしました。全国各地から40名（男性22名・女性18名）が参集し、久しぶりの再会を心から喜び合いました。互いの近況を語り合い、時に笑い、時に懐かしさに浸りながら、昔話に花を咲かせました。時間の経過を忘れるほどの盛り上がりで、クラス会終了後も多くの仲間たちが横浜の街へと繰り出し、なかには4次会、5次会まで勤め上げたという声も聞かれました。

また、今回のクラス会開催にあたり、同窓会よりご支援として助成金を賜りましたことに深く感謝申し上げます。おかげさまで、滞りなく円滑に会を進行することができました。

この場を借りて、クラス会開催のご報告と御礼を申し上げます。



令和7年春の叙勲 表章



鹿島 勇 先生 旭日中綬章受章

令和7年春、学校法人 神奈川歯科大学 理事長の鹿島 勇 先生（6回生）が「旭日中綬章」を受章されました。おめでとうございます。

令和6年度 表彰

昨年、北海道支部で表彰された先生を紹介いたします。

北海道歯科医師会功労会員顕彰受賞



佐藤 宏 先生（1回生）

佐藤先生は、昭和52年4月に北海道地区連合会札幌支部が発足した時の初代支部長です。

趣味の囲碁の強さは、北海道の歯科界で有名です。同窓会の麻雀大会ではよく優勝し、手品も得意でクリスマスパーティーで披露していただきました。いつも笑顔が絶えない優しい先生です。



塚本和夫 先生（1回生）

塚本先生は、昭和56年より60年まで北海道支部長を務められました。強い信念をもち、曲がったことが嫌いで歯科医師会に向向した時は、考え方にぶれはなく、会務を執行されました。後輩にはとても優しい、ゴルフ大好きの先生です。

文部科学大臣表彰受賞



柴田信行 先生（7回生）

柴田先生は、室蘭歯科医師会で長い間、副会長を務められ、同窓8名の室蘭支部会員をまとめてきました。北海道社会保険支払基金の審査委員なども務められました。お酒が大好きな後輩から慕われる優しい先生です。

《 褒章・叙勲・表彰について 》

国（内閣府）・都道府県から褒章・叙勲を受章されたほかに、医療に携わり社会的に貢献した事を認められて（大臣表彰・都道府県・日本歯科医師会）から表彰を受彰された先生方を会報（HP）でご紹介させていただきます。

会報掲載をご希望の先生は、支部名、回生、お名前、受章（表彰）名・受章（表彰）日・写真1枚と簡単なコメント（50字程度）を添えて事務局にお届出ください。

《 クラス会助成について・令和7年度 》

- 10周年単位のクラス会、卒後5周年のクラス会に助成金を支給します。
- 令和7年度は7回生、17回生、27回生、37回生、47回生と卒後5周年に該当する52回生が対象となります。（いずれも前後1年の会期も可）
- 助成金額は、該当するクラス会1件 10万円で用途は自由です。
- 助成クラス会の該当要件があります。詳しくは事務局までお問い合わせください。
- 同窓会に提出する書類とは別に、同窓会会報に掲載する原稿を別途ご提出ください。（集合写真1枚等添付）

氏名	氏名	氏名
安達 駿	小橋川 温	朴 基浩
新井 昊樹	小林 果歩	朴 帝彦
荒川 美南	小林 明結	朴 世珍
李 樹祉	小山 涼	早川 凜
李 旻	近藤 千洋	菱山 祐
池田 圭邦	近藤 史基	平林 茉桜
池田隆太郎	齋藤 大	広江 萌絵
石渡 樹	三枝 愛	ブアウダ恭允
磯村 正士	佐藤 怜子	藤田 心
伊東よつば	重松 慶祐	藤永 優
糸川 麗	清水 愛香	古谷 樹々
五十子稜真	清水 将大	細見 更咲
殷 玉真	下村 佳佑	前原 美妃
ALAVEE MD FAHIM	鄭 芝溶	蒔田 達巳
生沼 麻耶	白倉ほのか	増田 光哲
岡田 華林	菅原 涼珠	松崎 崇徳
岡野 寛文	杉山 詩織	松澤 紫音
小川 脩太	鈴木 陽夏	松下 愛子
小川 桃夏	関野 創	松信 芳優
奥畑京士郎	徐 賢娥	松本 喜成
小花 美由	宋 承恩	間中 友菜
小山裕太郎	曹 楽桐	三村 旺史
賈 子航	曹 梁	三代川祥久
笠原 多恵	曹 礼淵	村越 琉伍
金井 智人	宋 志裕	森井菜々子
金子 拓弥	高内 希望	山口 歩希
金子 佳樹	鷹林 醐糊	山本 佳英
河野 薫子	武田 真	劉 煥熙
川満あかり	崔 源竣	湯浅 璃音
奇 炫辰	張 宰元	尹 恩善
木皿慎太郎	張 材僖	呂 釘鎮
金 娥煥	鶴藤 宜周	吉田 亘
金 仁頌	手嶋 大翼	米山 采花
金 昭延	杜 楓濤	米山 好紀
金 玫材	鳥井菜々華	李 秋延
權 城敏	内藤 才湮	李 青宇
口羽 教介	直江 優太	李 蘊芸
吳 汝叡	中村 希歩	劉 宥謙
洪 允泓	西杉 旺哉	盧 立融
小鳥居琉宇	根岸 龍勢	

宮嶋千秋 (41回生・甲) 福島県支部
 大貫雄一 (50回生・甲) 栃木県支部
 杉山悟郎 (37回生・甲) 福岡県支部

再入会者

齋藤 元 (16回生・甲) 東京都支部

訃報

『特別会員』
 齋藤 滋 (元神奈川歯科大学 口腔生化学 教授)
 2025.02.16 ご逝去

『正会員』

小山 道夫	(神奈川県支部 12回生)	2024.10.20	ご逝去
中西 通	(徳島県支部 9回生)	2025.01.09	ご逝去
田中 榮一	(東京都支部 4回生)	2025.01.15	ご逝去
谷口 富白	(静岡県支部 3回生)	2025.01.25	ご逝去
牧角 新蔵	(鹿児島県支部 10回生)	2025.02.09	ご逝去
工藤 晴弘	(北海道支部 9回生)	2025.02.10	ご逝去
高松 千鶴	(神奈川県支部 8回生)	2025.03.06	ご逝去
葭内 純史	(北海道支部 1回生)	2025.03.15	ご逝去
鈴木 吉久	(三重県支部 5回生)	2025.03.24	ご逝去
高江洲 尚	(神奈川県支部 1回生)	2025.03.29	ご逝去
津本 信	(神奈川県支部 6回生)	2025.03.31	ご逝去
稲富 洋文	(千葉県支部 16回生)	2025.04.11	ご逝去
桐原 千壽	(鹿児島県支部 4回生)	2025.04.17	ご逝去
田中 亮二	(神奈川県支部 11回生)	2025.04.18	ご逝去
今野 幸孝	(神奈川県支部 4回生)	2025.05.25	ご逝去
土屋 重俊	(神奈川県支部 7回生)	2025.06.17	ご逝去
白崎 俊幸	(宮城県支部 6回生)	2025.06.27	ご逝去
坪内 徹郎	(北海道支部 2回生)	2025.07.04	ご逝去

ご報告

会報141号(2025年1月15日発行)に、令和6年11月末日現在の「被災された同窓生への災害支援に関する経過報告」を掲載いたしました。その後、被災報告は令和7年6月末日現在までにいたっておりませんことをご報告いたします。
 貴支部総会等の際に、支部会員の先生方から過去における被災状況の報告をお受けしたなどの話題がございましたら、本部同窓会事務局までお知らせくださいますよう、宜しく願い申し上げます。

《編集後記》

142号では、アフターコロナと呼ばれてから2年ほど経過し新たな歩みとして、同窓会本部並びに各地支部会の総会、学術講演会の様子、また全国から参集しての同期会の様子等々を掲載いたしました。オンラインでの繋がりを経て、直接語り合える喜びと熱意が感じられる活動の報告です。今後も同窓生の絆を深める場が広がることを期待します。

編集委員：加来 めぐみ(9回生) 金子宣由(19回生) 濱野奈穂(30回生) 市田佳子(33回生) 角井早紀(49回生) / 広報担当常務理事：川端啓義(12回生) / 広報担当理事：新井宗高(28回生) / アドバイザー：高橋 朗(12回生)

神奈川歯科大学同窓会会報 142号

発行：神奈川歯科大学同窓会
 〒238-8580 横須賀市稲岡町82
 TEL：046-825-0524 FAX：046-822-3538
 URL: <https://inaoka82.com/> E-mail: ob-jimu@kdu.ac.jp



発行人：大館 満
 発行日：2025年7月18日
 印刷：一世印刷株式会社
 〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22
 TEL：03-3952-5651

回生
(会員番号)ふりがな
氏名

支部

旧姓

<< 勤務先情報 >>

◆ 届出の登録情報に変更 【あり・なし】

◆ 冊子名簿への掲載について(希望する方に○をつけてください)

勤務先名 【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

勤務先所在地 【掲載・非掲載】 〒

電話番号 【掲載・非掲載】

FAX番号 【掲載・非掲載】

携帯番号 【掲載・非掲載】

E-Mail 【掲載・非掲載】

※ アドレスを事務局宛にメール送信してください

<< 現住所情報 >>

◆ 届出の登録情報に変更 【あり・なし】

◆ 冊子名簿への掲載について(希望する方に○をつけてください)

住所 【掲載・非掲載】 〒

電話番号 【掲載・非掲載】

FAX番号 【掲載・非掲載】

携帯番号 【掲載・非掲載】

E-Mail 【掲載・非掲載】

※ アドレスを事務局宛にメール送信してください

<< 連絡方法 >>

1. 勤務先

2. 現住所

(送付を希望する方に○をつけてください)

<< 空欄の箇所がある場合、既に登録(届出)してある情報の変更はいたしません >>

会員の個人情報について「プライバシーポリシー」を定め、適切な取り扱い管理を行っています。
この届出が同窓生名簿原稿となることにご理解をいただき、氏名・回生・支部・役職・勤務先の名称、住所、電話番号は
掲載にご協力くださいますようお願い申し上げます。

※ 市町村合併に伴う住居表示変更・市内局番の変更に伴う電話番号表示変更につきましてもお知らせください。

※メールでの登録情報変更については

ob-jimu@kdu.ac.jp

宛にお問い合わせください

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82
ホームページアドレス <https://inaoka82.com/>TEL(046)825-0524/FAX(046)822-3538
E-mailアドレス ob-jimu@kdu.ac.jp

【お願い】

2024 年度版名簿発行以降に住所変更等の届出をされていない方は正確な情報を名簿に掲載することができるよう、裏面の『登録情報変更届』用紙をFAX・またはメールにてご連絡ください。

また、一般公開ページの下記のサイドメニューからの届出もできます。

市区町村変遷情報(市町村合併・市制変更等)による住所表示変更、電話番号表示変更についてもお知らせください。



※個人情報の保護のため、会員ご本人からの届出を原則とします。

URL : <https://inaoka82.com/>

E-mail : ob-jimu@kdu.ac.jp



神奈川歯科大学同窓会事務局

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町 82

TEL:046-825-0524 FAX:046-822-3538

入学金
60万円
免除!

2026年度

卒業生 推薦入試

本学歯学部卒業生の推薦があれば、
どなたでも出願可能です!

募集人員

▶ **20**名

入試日程

▶ 2025年7月頃
公開予定

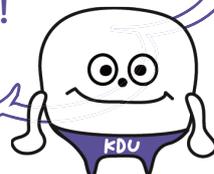
試験内容

- ▶ 小論文 (400～600字)
- ▶ 面接

出願書類

- ▶ 入学志願票
- ▶ 質問票 (本学HPよりダウンロード)
- ▶ 出身高校調査書 (調査書または卒業証明書および成績証明書)
- ▶ 卒業生推薦書 (本学HPよりダウンロード)

2026年度より
2科目で受験が可能に
なりました!



卒業生推薦入試による2026年度入学者は入学金が全額免除されます!



神奈川歯科大学 歯学部

<お問い合わせ> 教学部入試係

☎ 046-822-9580 (平日 9:00～17:00)

✉ nyushi-shigakubu@kdu.ac.jp

🌐 <https://www.kdu.ac.jp/dental/>



cheer up!

学修を
応援する

神奈川歯科大学 短期大学部

減免制度

さまざまな形で皆さまをサポートします。一度ご相談ください！



1 学校推薦型選抜、 (指定校・公募) 社会人選抜の方

学校推薦型選抜（指定校・公募）、
社会人選抜で合格・入学した方は
入学金全額免除

2026年度の変更点

※学校推薦型選抜(公募)は、2026年度入試より推薦基準
評定平均値の条件が撤廃されます



2 卒業生推薦の方

※
本学関連校の卒業生から
推薦を受けた方は
入学金半額免除

※関連校

- ・神奈川歯科大学・神奈川歯科大学短期大学部
- ・日本女子衛生短期大学・湘南短期大学
- ・神奈川歯科大学附属歯科技工専門学校



3 施設長推薦の方

医療系施設長から
推薦を受けた方は
入学金半額免除

※医療系施設に指定はありません



4 特待生選抜の方

特待生選抜で特待生として
合格・入学した方は
初年次授業料半額免除

※複数の制度を併用することはできません



高等教育就学支援新制度の対象校



神奈川歯科大学

教学部入試係 ☎046-822-9580 (平日 9:00~17:00)

医科・歯科特化

新規開院 医療法人化 事業承継

税務・会計
TAX ACCOUNTING

SOLUTION
SERVICE

社労士業務
SOCIAL &
LABOR INSURANCE

医業経営
コンサルティング
MEDICAL MANAGEMENT



みなとみらい税理士法人
高田会計事務所

所長・税理士 高田一毅

〒220-0011 横浜市西区高島2-3-25 みなとみらいTAビル
TEL:045-285-8880 FAX:045-285-8881
E-mail: ta@ac-systems.co.jp